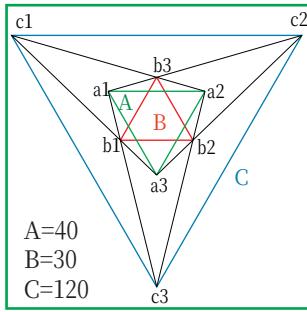


3つの正三角形と三位一体の比例

2つの数<A,B>がある時、2つの数の積を2つの数の差で除して出来る数を<C>とした時、A/B/Cの数の組をプロニティーと呼ぶ。プロニティーの3つの数の関係を、図形(正三角形)に置き換えると空間に配置された2つの正三角形(A,B)の相対的な大きさと距離の関係から生まれる、もう1体の正三角形(C)の大きさと位置の事である。



ヘキサグラムの焦点となるc1.c2.c3

<A,B,Cは同心>

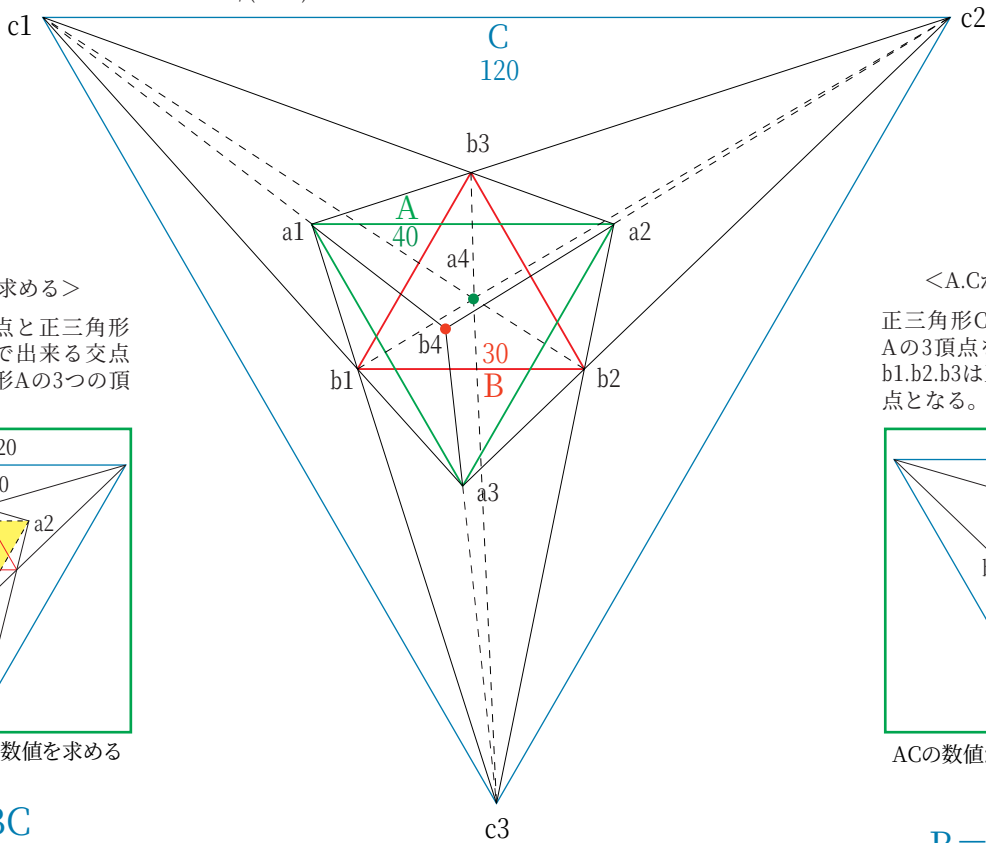
$$\frac{\text{2つの数に}}{\text{相対する数}} = \frac{\frac{\langle A \times B \rangle}{\text{2つの数の積}}}{\frac{\langle C \rangle}{\text{2つの数の差}}}$$

$$\text{pronity } 40/30/120 = A/B/C$$

<正三角形AとBから正三角形Cを求める>

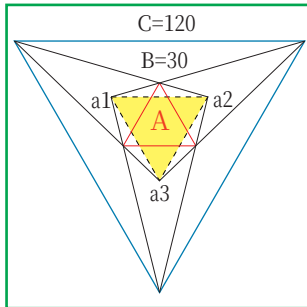
A,Bの3頂点を結ぶ線分は、Cの3頂点に交わる

正三角形Aと正三角形Bの頂点を結んだ延長交点c1.c2.c3は正三角形Cとなり、その大きさはAB/(A-B)で求められる。



<B,CからAを求める>

正三角形Cの3頂点と正三角形Bの3頂点を結んで出来る交点a1.a2.a3は正三角形Aの3つの頂点となる。



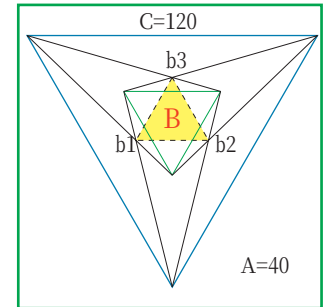
BCの数値からAの数値を求める

$$A = \frac{BC}{C-B}$$

$$40 = 120 \times 30 \div (120 - 30)$$

<A,CからBを求める>

正三角形Cの3頂点と正三角形Aの3頂点を結んで出来る交点b1.b2.b3は正三角形Bの3つの頂点となる。



ACの数値からBの数値を求める

$$B = \frac{AC}{A+C}$$

$$30 = 120 \times 40 \div (120 + 40)$$

<ABがいかなる距離でも変わらないA/B/Cの関係>

正三角形A,Bが相対的な大きさ距離を変えるとCも相対的に変化するが焦点の関係は変わらず、3体は常にプロニティーの関係となる。

